



東北車 第 251 号
平成 3 年 5 月 24 日

輸送機工業株式会社 殿

東北運輸局長

改造自動車等審査結果通知書

- 指示事項: ① 本試作は、製造番号 8469 の1台限りとする。
 ② けん引車は、日野 W-SS2VJAA 型 (16t) で検討した。
 ③ けん引車は、NR 装置付とし、検査時に当該装置が正常に作動することを確認すること。
 ④ 保安基準の緩和認定を受けること。

(東北審第 595 号)

主要諸元比較表

(改造、試作) 組立

届出者の氏名又は名称		輸送機工業株式会社			種別用途		普通(被けん引車)貨物		
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準		
車両重量 kg		11200	—	車名		ユ-キ	—		
乗車定員人		—	—	型式		YD03543B	—		
最大積載量 kg		25000	—	形状		セミトレー	—		
車両総重量 kg		36200	≦20t	原動機の型式			—		
長さ m		11.100	≦12	総排気量 l			—		
幅 m		2.995	≦2.5	燃料の種類		(第5輪付)	—		
高さ m		1.695	≦3.8	軸距 m		8,370+1,200=9,570	—		
室内又は荷台の内側の寸法	長さ	5.100	—	最小回転半径 m		* 11.02	≦12		
	幅	2.995	—						
	高さ	—	—	荷台オフセット m		3.880	—		
空車時	前	(第5輪)	—	タイヤ	前		—		
荷重分布	後	3670	—	サイズ	後	8.25R16-19X	—		
		3865	—			8.25R16-19R	—		
積車時	前	(第5輪)	≦10t	積車時	前		—		
荷重分布	後	14280	—	タイヤ	後		—		
		10960	≦10t	荷重割合 %			≦100		
		10960	—			* 73.1	—		
積載時	前		≦18	最大安定	左	* 59	一般 ≧25		
荷重割合 %	後		≦20	傾斜角度	右	* 59	(30)		
輪距 m	前		—				—		
	後	1.580	—				—		
		1.580	—				—		
制動力	踏力	kg 25 km/h	* 1.023 m	車わく強度	$\sigma_b/\sigma = \frac{5300}{620 \times 2.5} = 2.58 > 1.6$				
	空気圧	5.0 kg/cm ²	—	車軸強度	" = $\frac{4600}{55 \times 2 \times 2.5} = 5.22$ "				
推進	回転数	Nc/N=	—	操縦装置	" = / = "				
軸強	度	$\sigma_b/\tau =$	—	懸架装置	" = $\frac{5000}{320 \times 2.5} = 6.25$ "				
			—	制動装置	" = $\frac{5800}{2874} = 2.15$ "				
			—	連結装置	YD245(53号車)第1065号新型自動車第101号動				

試作
(改造) 概要説明書

目的	本トレーは分割不可能な重量物品の安全輸送を目的として製作されたものである。
車体	本トレーの形状は2軸16輪中低床式セミトレーである。車体前部はブーム形状に高く荷台は低く安全も高めた構造である。
軸距	重量配分の適正化及び走行安定性を考慮して9,570mmに設定した。
輪距	走行安定性を考慮し1,580mmに設定した。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	車軸は全浮動方式で左右各2個の円錐コロ軸受によって支えられている。車軸自身はフレーム後部下面に取付けられた懸架装置に固定されたタイヤから伝わる回転は円錐コロに入った軸受に伝わる構造である。
操縦装置	
制動装置	空気制動であって主制動と駐車制動よりなる。主制動は内部拡張式による。全車輪制動で非常時には自動的に制動できる構造である。駐車制動はマキナックハートに内蔵されたスプリングを使用し、空気と排出して、スプリングにより制動を発生させる装置である。
懸架装置	フレーム後部下面にブラケットにて支持されたトランスオン軸を中心として上下揺動するラウキングビームを取付け、コウラキングビームの両端部に車軸を取付けられた構造である。
連結装置	キングピンはJIS規格(φ602)に準じて製作された材質はSC19435である。YD255(53号車)第1065号新型自動車第1101号)とも同一キングピンを使用する。前車両端重量はYD255(53号車)第1065号新型自動車第1101号)と同一である。
車わく	フレームは2本のU型断面の中央を前後に貫通させた薄形鋼の側梁及び横梁を溶接して強固に結合した梯子型フレームである。
その他	1. 保安基準に基づいた電気装置を備える。 2. 第5輪後方には補助脚を取付ける。

(A列3番)

(中部車体協議会)

Y44425

注1. 主要諸元比較表右肩()内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。

注2. 能力強度等検核欄に必要なしなものは、省略したものは×を記入すること。

走行性能 * GCM=77470kg(2-0式), GCM=130620kg(3-2式)

*印はけん引車日野W-SS2VJAAの連結時を示す。